

II モズクとウニの環境要因

奥の海から沖合にかけて、水深が浅くなるにつれて、モズクとウニの生育域は狭くなる。これは、モズクとウニの生育に必要な環境要因が、浅海域に集中しているからである。このように、モズクとウニの生育域は、浅海域に集中していることがわかった。

1. 主要漁場と生育環境

沖縄島周辺の主なモズク漁場を調査した結果、生育域は珊瑚礁に囲まれた波浪の少ない浅海域であることがわかった。

その生育を制限している要因をみるために次の漁場について植生を中心に調査した。

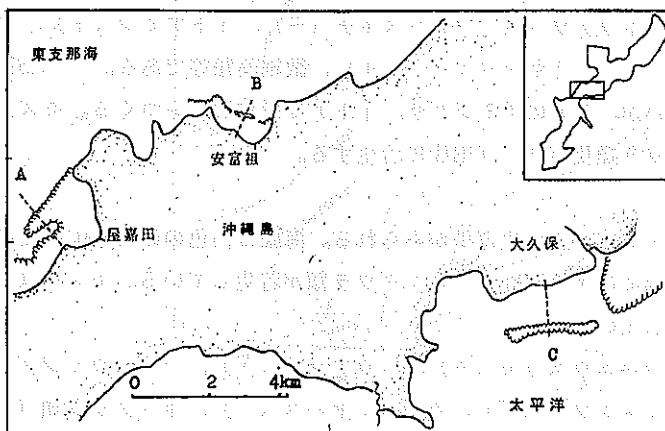


図-7 屋嘉田、安富祖、大久保の珊瑚礁と調査線

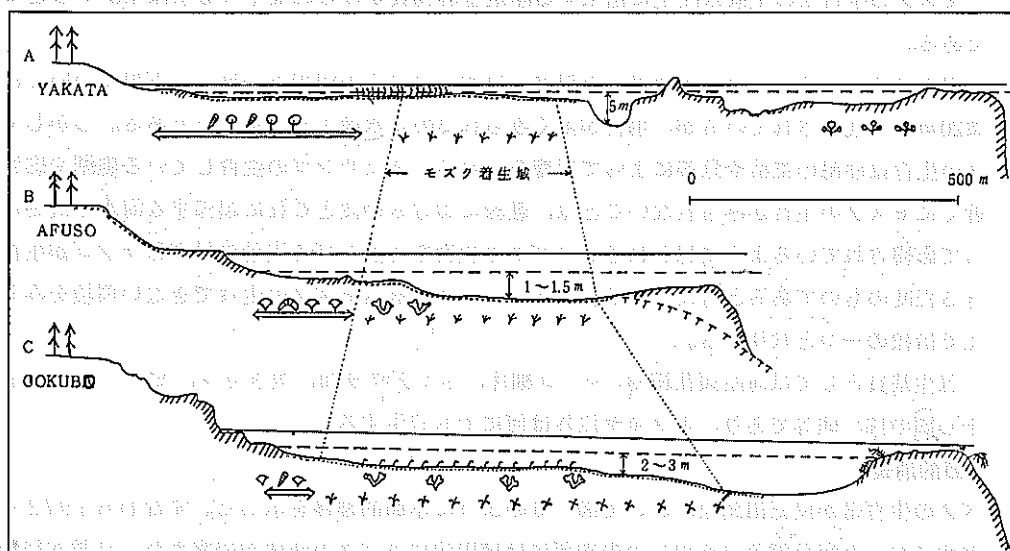


図-8 屋嘉田、安富祖、大久保、3海域における珊瑚礁のおよその断面図と植物の生育帯

Y オキナワモズク W ウミウチワ G ガラガラ R ラッパモク S スガモ-ベニアマモ帯
 mm 岩-サンゴ帯 S 砂及び砂利地帯 A アミジグサ M マツバウミジグサ帯 K カサノリ
 ← 陸土の影響の強い地帯 I イソスキナ H ホンダワラ